

日本の古典について

日本の古典(江戸時代までに書かれた本)の探し方と活字資料や古典資料についての参考図書についてご案内します。原典の古典籍は大阪府立中之島図書館が所蔵しています。

1.原典がどこにあるか調べる

【 】は当館資料の請求記号です。

- 『国書総目録』補訂版 全9巻(岩波書店 1989-1991) 【025.1/1N】
国初から慶応3年までに日本人の著編撰訳した約50万点の書籍の目録。日本人の著作であれば和文・漢文・欧文を問わず収めてあります。50音順書名を項目に、よみ、別称、分類、著作者、成立の他、写本・版本の所在、活字本、複製本等の記載があり、日本の古典を調べるときに最初に参照する目録。
- 『古典籍総合目録』全3巻(岩波書店 1990) 【025.1/4N】
『国書総目録』の続編。同書に採録されたもの以後に追加調査されたもので昭和63年度分までを収載しています。なおこの目録には活字化されたものについての記載はありません。

- 国書データベース [Web https://kokusho.nijl.ac.jp/](https://kokusho.nijl.ac.jp/)
『国書総目録』『古典籍総合目録』に採録されたものとそれ以後に追加されたもののデータベースです。国内外の機関が所蔵する古典籍の画像データが収録されているものもあります。

2.書名の読みを調べる

- 『国書読み方辞典』(おうふう 1996) 【025.1/21N】
『国書総目録』に収録されている図書の読み方を調べることができます。
- 『古典文学作品名よみかた辞典』(日外アソシエーツ 2004) 【910.33/15N】
近世以前に成立した文学作品約13,393点の読み方を調べることができます。

3.人名の読みを調べる

- 『国書人名辞典』全5巻(岩波書店 1993-1999) 【281/170N】
『国書総目録』に収められた著編者のうち著作を有する約3万人について解説した辞典。
- 『日本史人名よみかた辞典 1・2』(日外アソシエーツ 1999、2020)【281/439N】【281/33NX/2】
古代から幕末までの古文書等に記録された日本人名の読み方辞典。1に68,000件、2に64,824件を収録。
- 『和学者総覧』(汲古書院 1990) 【281/14N】
近世・近代の和学者11,637名について、姓名の読み、別称、生国他各々の略伝を一覧できる名簿。
- 『号・別号辞典 古代・中世・近世』(日外アソシエーツ 2003) 【281/8N】
古代から近世までの人物が用いた号・通称・諱・名・字などの別号から代表的な姓名とその読みと略歴を調べることができます。

4. 古典資料について調べる

- 『日本古典文学大辞典』全 6 巻 (岩波書店 1983-1985) 【910.3/59】
近世末までに成立した古典文学のうち国文学全般ならびに国語学、関連分野まで調べられる大辞典。
事項、人物、作品、編著等すべて約 13,000 の項目が収載され、諸本、活字翻刻、参考文献の記載があり、第 6 巻には総索引、難読訓一覧があります。

- 『日本古典文学大事典』(明治書院 1998) 【910.2/104N】
上代より近世までの日本古典文学について主な作品、作者、事項など約 8,000 項目についての事典。
翻刻・影印・複製や参考文献の記載もあります。

- 『日本古典籍書誌学辞典』(岩波書店 1999) 【020.2/28N】
近世以前の和書や関連のある漢籍について日本古典籍書誌学の基本的なことが調べられます。
項目は書誌学用語・専門用語を基本として、著名な古写本、古筆、古版本、書肆、蔵書家なども採録しており「古典籍便覧」としても活用できます。

- 『世界名著大事典』オリジナル新版 全 17 巻 (平凡社 1987-1989) 【025/4】
各国の古典的な文献をあらゆる分野から厳選して 11,000 点を選び、書名、作品名を項目として 50 音順に並べ解説した事典。16 巻に書名、書名難訓、著者、欧文索引等の各索引があります。

- 『国史大辞典』全 15 巻 17 冊 (吉川弘文館 1979-1997) 【210/176】【210.03/3N】
日本歴史全領域を網羅し、さらに考古学、人類学、民族学、民俗学、国語学、国文学等の隣接分野にもおよぶ 42,000 点の項目を 50 音順に配列した歴史辞典。

5. 古典全集・叢書に収録された古典をさがす

- 『全集・叢書細目総覧』復刻 全 3 巻(紀伊国屋書店 1989) 【027.4/2】
国立国会図書館が所蔵している明治以降から昭和 45 年末までに刊行された約 1,200 種の全集、叢書に収録されている古典籍資料の内容細目集。
「古典編」は全集、叢書名の 50 音順排列、「古典編索引」は作品名読みの 50 音順排列で、巻末に難読索引が付いています。「古典編 続」は昭和 46 年から同 60 年までに刊行された全集、叢書を収録しています。

- 国立国会図書館サーチ [Web](https://ndlsearch.ndl.go.jp/) <https://ndlsearch.ndl.go.jp/>
国立国会図書館の蔵書および国内の主要図書館の蔵書を調べることができるデータベースです。
内容細目(それぞれの図書に収録されている各作品名)から調べることができます。

- 『日本古典文学全集・内容総覧』第 1 期・第 2 期(日外アソシエーツ 2005、2019) 【910.31/33N】【910.31/2NX/2】
国内で刊行された日本の古典文学に関する全集の内容細目集。1945 年～2019 年に刊行が完結した全集から収録。全集名の読みの 50 音順排列、作家名索引があります。

- 『日本古典文学全集・作品名総覧』第 1 期・第 2 期(日外アソシエーツ 2005、2019) 【910.31/32N】【910.31/3NX/2】
国内で刊行された日本の古典文学に関する全集の作品名および解説・資料類の索引。1945 年～2019 年に刊行が完結した全集から収録。作品名の 50 音順排列で『日本古典文学全集・内容総覧』の作品名索引として使えます。

- 『作品名から引ける日本古典文学全集案内』(日外アソシエーツ 2025.7) 【910.31/9NX】
1945年～2025年に刊行された日本古典文学に関する全集・個人全集の収録作品を、「作品名」から探すことができます。(影印を主とするものは除く)

6.複製・翻刻された古典を調べる

- 『国文学複製翻刻書目総覧 正・続』
(日本古典文学会貴重本刊行会、貴重本刊行会 1982,1989) 【910.3/57】【910.31/21N】
慶応4年までに日本人が著編撰訳した書籍のうち、国文学および国文学に関連のある書籍の複製または翻刻(復刊本も含む)されたものの目録。昭和20年8月から昭和61年12月までに刊行された書目(図書の本名)を収録しています。
- 『古典文学全集・翻刻書・研究書総目録』(日外アソシエーツ 1996) 【910.31/24N】
1868年(明治元年)から1995年(平成7年)までの間に、日本国内で刊行された古代から近世の日本古典文学に関する、全集・翻刻書・復刻本・影印本・研究書・注釈書などの図書目録。著者名索引と事項名索引があります。
- 『国文学年鑑』昭和52-平成17年版 以後休刊(至文堂 1979-2005) 【910.5/2】【910.31/2N】
当該年鑑の国内で発表された国文学関係研究文献の目録と1年間の国文学界の動向を知ることができます。翻刻あるいは複製された作品は「翻刻複製作品一覧」で見ることができます。昭和38-45年版の『国語国文学研究文献目録』、昭和46-51年版の『国文学研究文献目録』を経て、現書名に改題されました。
- 国文学・アーカイブズ学論文データベース [Web](https://ronbun.nijl.ac.jp/kokubun) <https://ronbun.nijl.ac.jp/kokubun>
日本国文学研究論文の総合目録データベースです。大正元年以降の日本国内で発表された雑誌紀要単行本(論文集)等に収められた論文に関する情報を掲載しています。
『国語国文学研究文献目録』『国文学研究文献目録』『国文学年鑑』に対応しています。

7.現代語訳・注釈書・研究書

- 『日本古典文学案内』(日外アソシエーツ 2009) 【910.31/39N】
日本国内で明治以降に出版された日本古典文学作品の現代語訳・注釈書を、作品別・作家別にまとめた図書目録。現代語訳、注釈書を探す手掛かりとなります。
- 『日本古典文学研究史大事典』(勉誠社 1997) 【910.36/5N】
上代から近世に及ぶ古典文学の作品・作家・事項等についての研究史を集大成したもの。
各項目は<概要><研究史><展望・問題点><影印・翻刻・注釈><参考文献>を収録しています。
- 『研究資料日本古典文学』全12巻(明治書院 1983-1985) 【910.23/8N】
主要古典文学作品、作家についての解題書。主要作品については本文を掲げ通釈・語釈・解説を施している。参考文献、翻刻、研究動向も記載しています。
- 『日本文学研究文献要覧 古典文学』1975～2014(日外アソシエーツ 1995-2016) 【910.31/20N】
日本の古典文学に関する専門書、研究文献を収録しています。翻刻、復刻、事典、索引、書誌などの参考図書も収録されています。どのような分野でどのような研究がされているのか、また過去にどのような文献があるのかを体系的に知ることができます。

★現代語に訳されているものを蔵書検索で探すには書名欄に「現代語」と入力し、続いて下の検索項目も書名に変更し「作品名」を入力します。書名と書名は「AND」で検索します。あるいは、書名欄に「現代語」と入力し、下の検索項目をNDC分類に変更し(歴史は2、文学は9等)を入力して検索するとよいでしょう。

検索条件			
書名	▼	現代語	中間 ▼ AND ▼
書名	▼	源氏物語	中間 ▼ AND ▼

検索条件			
書名	▼	現代語	中間 ▼ AND ▼
NDC分類	▼	9	中間 ▼ AND ▼

●国文学研究資料館電子資料館 [Web](https://www.nijl.ac.jp/search-find/#database) <https://www.nijl.ac.jp/search-find/#database>
 国書データベースや国文学・アーカイブズ学論文データベース等、国文学関係学術調査・研究の振興のために公開された各種データベースがあります。

8. 日本古典文学の全集

- 『日本古典文学大系』全 100 冊・総索引(岩波書店 1957-1978) 【918/N4】
【918/10N】
読み下し本文、注釈、解説
- 『新日本古典文学大系』全 100 冊・別巻 5 冊・総目録(岩波書店 1989-2005) 【918/2N】
読み下し本文、注釈、解説
- 『日本の古典 完訳』全 58 巻 別巻(小学館 1982-1988) 【918/5】
読み下し本文、脚注、現代語訳、解説
- 『日本の古典をよむ』全 20 巻(小学館 2007-2009) 【918/37N】
あらすじ、現代語訳、原文
- 『日本古典文学全集』全 51 巻(小学館 1970-1976) 【918/11N】
原文、読み下し本文、口語訳、頭注、解説
- 『新編日本古典文学全集』全 88 巻 (小学館 1994-2002) 【918/8N】
原文、訓読文、頭注、現代語訳、解説
- 『新潮日本古典集成』全 82 巻・別巻 12 巻(小学館 1976-2003) 【個別記号】
読み下し本文、現代語訳、頭注、解説、附説

9. インターネットで一次資料を見る

- 大阪府立図書館「おおさか e コレクション」 [Web](https://da.library.pref.osaka.jp/) <https://da.library.pref.osaka.jp/>
大阪府立図書館が所蔵する貴重書の画像などを閲覧することができるデジタルアーカイブです。古典籍資料については、中之島図書館で所蔵する貴重書や近世後期小説類、浄瑠璃本、近世活字本などが閲覧できます。
- 国立国会図書館デジタルコレクション「古典籍資料(貴重書等)」 [Web](http://dl.ndl.go.jp) <http://dl.ndl.go.jp>
国立国会図書館古典籍資料室所蔵資料(約 30 万点)のうち、貴重書・準貴重書をはじめとした江戸期以前の和古書、清代以前の漢籍など、約 9 万点がインターネットで公開されています。(令和 7 年 10 月現在)

もっと詳しく ➡ 4 階カウンターにお気軽にお問い合わせください！